

歴史の道 萩往還 を知らう

萩往還展

2025年1月18日～3月2日



歴史の道「萩往還」

歩くことでその歴史を感じられる道ですが、新山口駅にて萩往還についての展示を実施します。普段中々触れることのできない萩往還について知ることができます。また開催期間中の土日祝日は萩往還語り部の会のガイドが常駐しているので、ガイドしか知らない貴重な話が聴けるかも！

【開催期間】2025年1月18日（土）～3月2日（日）

【時間】9：00～17：30

【場所】新山口駅観光交流センター中2階
（新山口駅北口）

【駐車場】周辺有料駐車場をご利用ください



萩往還語り部の会が、開催期間中の
土日祝日に常駐してご案内します。
（10：00～15：00頃まで）

萩往還

は、毛利氏が慶長9年(1604)萩城築城後、江戸への参勤交代での「御成道(おなりみち)」として開かれました。日本海側の萩(萩市)と瀬戸内海側の三田尻港(防府市)をほぼ直線で結び、全長はおおよそ53km。江戸時代の庶民にとって山陰と山陽を結ぶ「陰陽連絡道」として重要な交通路であり、幕末には維新の志士たちが往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。

主催・お問い合わせ

(一財) 山口観光コンベンション協会

TEL:083-933-0088 (平日9：00～17：30)

萩往還を歩こう。

選ばれました！

国の史跡に指定（一九八九年）

選定／文化庁

歴史の道百選（一九九六年）

選定／社団法人日本ウォーキング協会

美しい日本の歩きたくなるみち

500選（二〇〇四年・秋～山口開）



からひふだばあと
唐樋札場跡

松陰記念館と銅像

松陰記念館には松下村塾が再現され、記念館の前には高杉晋作・伊藤博文などの塾生の銅像が並んでいます（入館無料）。



みち えき はぎおうちん しょういんきねんかん
道の駅「萩往還」・松陰記念館

萩市

一升谷の石畳

急な山道を雨水から守るため、先人が考えた、幅約1mの石畳です。



しちけんどう てんぼうだい きゅうけいしよ
七賢堂の展望台・休憩所

佐々並



ささなみち かいどうすじ
佐々並市の街道筋

上長瀬一里塚

1里ごとに作られた築山。原型に近い形で残った県指定史跡。



しじゅうに ま
四十二の曲がり

時を越え、新しい出会いへと誘ってくれる萩往還。

萩往還は、毛利氏が慶長9年（1604）萩城築城後、江戸への参勤交代での「御成道（おなりみち）」として開かれました。日本海側の萩（萩市）と瀬戸内海側の三田尻港（防府市）をほぼ直線で結び、全長はおよそ53km。江戸時代の庶民にとって山陰と山陽を結ぶ「陰陽連絡道」として重要な交通路であり、幕末には、維新の志士たちが往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。

山口市

大内文化の香る山口市街地

ちょっと足を伸ばして、国宝 瑠璃光寺五重塔をはじめ、大内氏の面影が残る山口を散策して見てはいかがですか？



ほんちようもん
藩庁門

0 2.5km 5km



ぐんきよう ひ
郡境の碑

防府市



ほうふてんまんぐう
防府天満宮



みたじりおふなぐらあと あんないばん
三田尻御舟倉跡（案内板）

三田尻御舟倉跡

藩主が乗船する「御座船」などの船が係留され、周囲には船の建造や修繕のためのさまざまな施設がありました。

英雲荘
（三田尻御茶屋）

御舟倉跡（案内板）

